

埼玉県学力・学習状況調査（中学校）

# 復習シート 第二学年 国語



組	番号	名前	模範解答
---	----	----	------

## 【「読むこと」の問題（説明的な文章を読む問題）】

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「科学者になるには『あたま』がよくなくてはいけない」これは普通世人の口にする一つの命題である。これはある意味ではほんとうだと思われる。しかし、一方でまた「科学者はあたまが悪くなくてはいけない」という命題も、ある意味ではやはりほんとうである。そうしてこの後のほうの命題は、それを指摘し解説する人が比較的少数である。

この一見相反する二つの命題は実は一つのものの互いに対立し共存する二つの半面を表現するものである。この見かけ上のパラドックスは、実は「あたま」という言葉の内容に関する定義の曖昧不鮮明から生まれることはもちろんである。

論理の連鎖のただ一つの輪をも取り失わないように、また混乱の中に部分と全体との関係を見失わないようにするためには、正確でかつ緻密な頭脳を要する。紛糾した可能性の岐路に立ったときに、取るべき道を誤らないためには前途を見透す内察と直観の力を持たなければならぬ。すなわちこの意味ではたしかに科学者は「あたま」がよくなくてはならぬのである。

しかしまた、**①**にわかりきったと思われることで、そうして、普通の意味でいわゆるあたまの悪い人にも容易にわかったと思われるような尋常茶飯事の中に、何かしら不可解な疑点を認めそうしてその闡明に苦吟するということが、単なる科学教育者にはとにかく、科学的研究に従事する者にはさらにいっそう重要必須なことである。この点で科学者は、普通の頭の悪い人よりも、もともと物わりの悪いのみ込みの悪い田舎者であり朴念仁でなければならぬ。

いわゆる頭のいい人は、言わば足の早い旅人のようなものである。人より先に人のまだ行かない所へ行き着くこともできる代わりに、途中の道ばたあるいはちよつとしたわき道にある肝心なものを見落とす恐れがある。頭の悪い人足ののろい人がずっとあとからおくられて来てわけもなくそのだいたいな宝物を拾って行く場合がある。

頭のいい人は、言わば富士のすそ野まで来て、そこから頂上をながめただけで、それで富士の全体をのみ込んで東京へ引き返すという心配がある。富士はやはり登ってみなければわからない。

頭のいい人は見通しがきくだけに、あらゆる道筋の前途の難関が見渡される。少なくとも

自分でそういう気がする。そのためにややもすると前進する勇気を阻喪しやうい。頭の悪い人は前途に霧がかかっているためにかえって②である。そうして難関に出会っても存外どうにかしてそれを切り抜けて行く。どうにも抜けられない難関というのはきわめてま

※命題：ほとんどの難関は切り抜ければと考えているのである

※闡明に

（出典「科学者とあたま」寺田寅彦）  
ドックス……逆説  
ことを苦心しながら明らかにする

※朴念仁……物の道理がわからない人

(1) ①、②にあてはまる適切な言葉の組み合わせとして適切なものを選びなさい。

- ア ①主観的 ②楽観的  
ウ ①常識的 ②直感的  
イ ①常識的 ②楽観的  
エ ①主観的 ②直感的

(2) 科学者に「あたまのよさ」が必要な理由を本文中から二十四字で探して解答欄の「くから。」に続くように書きなさい。

前途を見透す内容と直観の力を持たなければならない

から。

(3) 本文中で筆者が言う「頭の悪い人」の特徴としてあてはまるものを次の中からすべて選びなさい。

- ア 難関に対してもどうにかして切り抜けていく。  
イ 誰でもわかる日常の中に疑問を見つけて苦心しながら明らかにする。  
ウ 富士のすそ野から頂上を眺めただけで全体を理解して引き返す。  
エ 旅の途中のわき道にある肝心なものを見落とす。

- ウ 頭の良い人は一を聞いて十を知ることができるために、それでよしとしてしまいがちなのである。  
エ 頭の良い人は目的地がはつきり見えすぎるのである。

ア・イ

